

# システム変更等のお知らせ

(2010.8.28 - 2010.11.2 変更)

システム運用係

## 1. ハードウェア

1.1. SR11000 システム …… なし

1.2. HA8000 クラスタシステム …… なし

## 2. ソフトウェア

2.1. AIX 5L (SR11000) …… 変更

Parallel Environment
----------------------

2.2. RedHat Enterprise Linux 5 (HA8000) …… 変更

最適化 Fortran
-------------

01-00-SE (2010.09.26)
-----------------------

・非正規化数演算制御機能を追加しました。下記実行時オプションで本機能を使用するかどうか指定します。

● RUNST (FTZ [(Q | 1)])

非正規化数をゼロとして扱うかどうかを指定する。  
デフォルトは FTZ(0)。また、(0 | 1) を省略した場合は FTZ(1) を仮定する。  
本オプションは、64 ビットアドレッシングモード時だけ有効である。

0: 非正規化数をゼロとはせず、非正規化数のまま計算する。

1: 浮動小数点のアンダーフローの結果をゼロとする。また、演算のオペランドに現れた非正規化数をゼロとして計算する。

## 3. その他

### 3.1. HA8000 クラスタシステム上での性能モニタ機能の公開について

2010 年 10 月 25 日より、HA8000 クラスタシステム上で性能モニタ機能を公開しました。

性能モニタ情報採取用オプション (-pmproc、-pmfunc、-pmpar)、性能モニタ情報表示コマンド (pmpr) が新たに追加されました。

性能モニタ機能を利用するために、専用のキュー (profile キュー) を使用します (本キューは性能モニタ機能を利用するためのものです。他の目的で利用することはお控え下さい)。

本機能の詳細については、本誌別記事「HA8000 クラスタシステム 性能モニタ機能の利用法」をご覧ください。